

## サンフランシスコ・自転車通勤応援キャンペーン視察報告 (5/6-5/12 サンフランシスコ)

特定非営利活動法人バイシクルエコロジージャパン  
杉浦邦俊/佐々木泰作

### •はじめに

2013年5月9日のサンフランシスコ BIKE TO WORK DAY (自転車通勤応援キャンペーン) に参加してきました。

今回は特定非営利活動法人バイシクルエコロジージャパン (以下BEJ)が2007年より活動して来た BIKE TO WORK のきっかけとなったサンフランシスコの BIKE TO WORK DAYが年に一度 (毎年5月第2木曜日) 開催される日に、是非、本場の BIKE TO WORKを体験したいという思いの参加でした。

サンフランシスコに住んでいた仲間のメッセージから始まった日本のBIKE TO WORK。活動開始以来、一度は本場サンフランシスコのBIKE TO WORK DAYを見てみたいという願いが叶い、初のサンフランシスコ視察となりました。

### •サンフランシスコのBIKE TO WORK DAYについて

サンフランシスコのBIKE TO WORK DAYはSAN FRANCISCO BICYCLE COALITION (以下SFBC)が運営しております。

SFBCは40年以上も前からサンフランシスコの自転車活用の促進をして来た団体です。現在もBIKE TO WORK DAYの活動以外に、市交通局やBART(電車)、プロ野球チームなどともパートナーシップを結び、自転車活用促進の活動をしています。

SFBCは「日常の交通機関として自転車を促進することにより住みやすく安全な街にする。」を目標としています。

毎年5月第2木曜日に開催しているサンフランシスコBIKE TO WORK DAY。いつから始まったのか、コアスタッフでさえ明確な答えを知りませんでした。20年近く続いているイベントのようです。

今年はエナジーステーションと呼ばれる補給場が、市内の自転車通勤が多い場所に、朝の時間帯(7:30~9:30)16か所、夕方の時間帯(17:00~19:00)は10か所、設営されました。

当日の朝は、12か所から出発されるというCOMMUTE CONVOYSというグループライドのアクションもありました。



グループライドの風景

5月9日 AM 8:00 CASTRO

私達はCOMMUTE CONVOYSというグループライドに参加しました。市内12カ所からスタートするBIKE TO WORK DAYの中のイベントです。

CASTRO地区スタートのグループに参加して市街地を目指しました。

集合したのは20名で男女10名ずつ。このチームリーダーはメトロポリタン交通委員会コミッショナー。(上写真、先頭右)

マーケットストリートというサンフランシスコのメイン通りを5kmほど市街地に向かってライドしていきます。

集合時間とスタート地点を決めるだけのスタイルなので近所の人が集まり普段は一緒に通勤しない人達と一緒にグループライドをしよう!という趣旨が感じられました。

途中の交差点などでどんどん人が合流していき、最初のエナジーステーションに付くまでには30人以上のグループになっていました。

そこから決まった行動はなくエナジーステーションでゆっくりコミュニケーションをとる人、そのまま会社に向かう人。参加しやすい一つの形だと思いました。

通りには自転車レーンが確保されており、車道の右側に自転車2台程が並列しても走れる幅のスペースがあります。もちろん一方通行です。

歩道を自転車が走っている姿は滞在中も殆ど見かけませんでした。自転車レーンが早く安全なのでしょう。

18歳未満はヘルメットの着用が義務付けられているようですが、参加者の殆どがヘルメットを着用しているのも日本とは違った光景でした。女性のカラフルなヘルメットはとても印象的でした。

自転車レーンを走るため自転車の巡航速度もあがるので自分の身を守る為にもヘルメットは必須アイテムだと実感しました。



エナジーステーションの風景

### AM 8 : 30 MID MARKET エナジーステーション

エナジーステーションは熱気に溢れていました。

「ハッピーバイクツーワークデー!」とスタッフが明るく声をかけ、オリジナルサコッシュ（肩掛けバック）を配り、テーブルにはコーヒー、水、スナックやフルーツが用意されていました。時間がある人はステーションに立ち寄りコーヒーやスナックをつまんでいます。時間の無さそうな人にはスタッフがタスキがけでサコッシュを渡してあげたり、「I BIKED TODAY!」と書いたステッカーを胸に貼ってあげたりと、時間があってもなくても参加したという実感のある応援の仕方でした。

ステーションにはBIKE DOCTARSと呼ばれる自転車屋さんのスタッフがいて、基本のメンテナンスや、シートの高さ調整や空気圧チェックを無料でしてくれていました。立ち寄ったエナジーステーション（上画像）のBIKE DOCTARは、通り向かいにあった素敵な自転車屋さんの方だった事に気がつき、より地域と協力し合っているイベントだと実感しました。

このステーションは私達のようにマーケットストリートを直進する流れと、写真右奥の通りから市街地向かう合流地点となっており、自転車の集まる場所にエナジーステーションが上手く配置されてることに気づかされます。

信号が変わる度に、どっと自転車通勤者が押し寄せます。

スタッフも沢山いて今回は約300人のボランティアスタッフが協力していたようです。スタッフの皆さんが本当に楽しんで活動しているというのがとても印象的でした。



ベイエリアエナジーステーションの風景

### AM9:00 ENBARCADEROエナジーステーション

マーケットストリートをそのまま直進してベイエリアのステーションまでやって来ました。とても天気の良い日でしたので海の近くはとても解放的で気持ちのよいステーションでした。ここは人気観光スポットの近くで「何をしているのだろうか？」と不思議そうにカメラを向けている観光客の姿も見られました。

レンタサイクルの観光客もエナジーステーションに立ち寄りたりして面白い光景でした。気持ち良かったので私達もコーヒーと美味しいスコーンを頂きながらステーションの様子を観察していたのですが、なにやら定期的に海の方から自転車通勤者が多くやってきます。途中からやっと気がついたのですが彼らは、フェリー降り場から自転車でやって来ていたのでした。（写真右奥の建物）

小型のフェリーに自転車をそのまま載せ対岸などからやってきてそのまま自転車で通勤するスタイルのようでした。そこをケアするためのエナジーステーションだったと気がつき、ステーションの配置についてまた感心いたしました。

リサーチも当然大事ですが、自転車に乗っている人の感覚で上手く配置されていると感心しました。

電車と自転車、船と自転車。バスと自転車。いろいろな公共交通機関と自転車の組み合わせで、より自転車が使いやすくなるという事を実感できました。

このステーションでまた気になる行動がありました。なにやらSFBCスタッフと自転車通勤の方が談笑し、黄色い紙に記入しながらスタッフがiPhoneを、自転車通勤の方がクレジットカードを。何をしているのだろうか？と黄色い紙を読み返したらMENBARSHIPの募集。会費をその場でSQUAREという決済システムを使い支払いをしていたようです。この簡単な支払いシステムだと会費を集めやすいだろうと思いました。

ちなみに年会費は35ドルから。



夕方のエナジーステーションの風景

### PM6：00 CENTRAL MARKET エナジーステーション

夕方といってもまだ明るいので街は元気。エナジーステーションも最後の力を振り絞ってお祭り状態。カウベルを鳴らしたり、FACE BOOKのいいね！マークの親指を立てたお手製手袋で自転車の皆さんとハイタッチ！

私達はここで広報の方にインタビュー取材があったので待機。忙しい合間を縫って質問にも答えて頂きました。

ありがとうございました。

このステーションを後に私達の初サンフランシスコBIKE TO WORK DAYも終了。朝から夕方まで刺激的で楽しい一日となりました。

#### ●終わりに

レンタサイクルを借りてサンフランシスコを自転車でもわった日がありました。イメージでは坂の街でしたが、自転車に乗ってみると、上手に坂道をパスするルートがあったり、公園の中を気持ちよくは知るルートがあったり。自転車レーン以外にもよく考えられているなと思いました。

観光用の自転車ルートも地元のローディーがトレーニングをしていたり、自転車に丁度良いサイズの街と感じました。

SFBCがいろいろな団体とパートナーシップを結び、より良い自転車環境を作り上げ、それを維持、ケア、そしてより良くして行った結果だと思います。

BIKE TO WORK DAYも一つの大きなイベントでありましたが、それ以上に街に自転車が根付いているといことを体験できたのが本当に大きな収穫でもありました。

あの自転車通勤のスピードはまさに交通機関です。

BIKE TO WORK はとにかく参加者もスタッフも楽しむ！

日本でもあの笑顔を！！



このサンフランシスコ・自転車通勤応援キャンペーン視察事業は、  
「一般財団法人セブン-イレブン記念財団」から助成を受けています。